



K・O・T・O・B・U・K・I

「P×P」への提案により、公園でのソーシャル
ディスタンスを「見える化」しました！

横浜市では、新たな公園の魅力と賑わいの創出に向け、令和元年9月に「公園における公民連携に関する基本方針」を策定し、具体的取組のひとつとして、令和2年1月に公園利活用の受発信窓口である「Park-PPP Yokohama（略称：P×P）」を開設しました。


このたび、株式会社コトブキから「P×P」に、新型コロナウイルス感染拡大防止に資するソーシャルディスタンス啓発バナー提供の申し出があり、実現に向けた調整の上、寄附を受け、規模の大きな複合遊具のある公園を中心に掲示させていただきました。バナーには、2mの距離が実寸大で表示されており、感染拡大防止のために必要なソーシャルディスタンスが一目瞭然に伝わります。

今後とも、「P×P」が民間事業者からの様々な提案を幅広く受け止め、公園の魅力アップを図り、「公園から」横浜のブランド力向上を目指します。

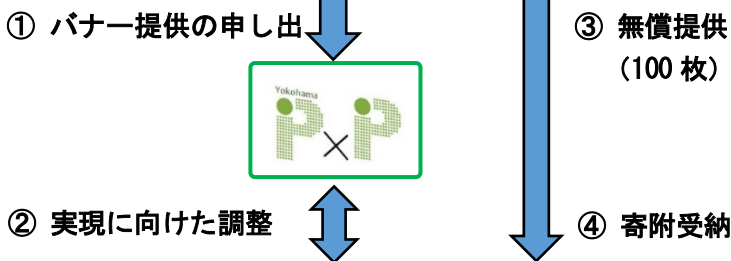
1 提案から実現まで

株式会社コトブキ **K・O・T・O・B・U・K・I**

本社：東京都港区
事業：遊具事業、都市景観事業、サイン事業等における開発、設計、製造、販売等



ソーシャルディスタンス啓発バナー



公園緑地維持課
公園施設の安全・安心対策の部署：掲示に係る調整や啓発を推進

公園緑地事務所・土木事務所等
現地の管理部署：掲示場所の選定や取付けを担当



掲示例（金沢区 金沢自然公園）



掲示例（港北区 岸根公園）

2 「P×P」の役割

- (1) 民間事業者からの相談・提案の受止め、検討・調整
- (2) 各公園の利活用に関する公募情報等の発信